

令和7年第4回厚沢部町議会臨時会提案理由書

(令和7年10月1日)

令和7年、第4回、厚沢部町議会臨時会の開会にあたり、一言ごあいさつと、提案理由を申し上げます。

まず初めに、「8月の大雨による被害」についてご報告申し上げます。8月19日から21日にかけて低気圧や前線が通過し、渡島・檜山地方では、激しい雨が断続的に降りました。鵜気象観測所では降り始めからの降水量は127mmを記録しました。実際には鵜観測所よりも北側の地域で記録以上の雨が降ったと考えられ、人的被害こそなかったものの、土砂災害、河川の氾濫、農地への土砂や流木の流入など数多くの被害が発生しました。

被害に遭われた皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、復旧工事等も早急に取り進めてまいります。

近年は全国各地で常識や想定を上回る豪雨が発生しており、先日は、釧路、十勝管内で道内初の線状降水帯が確認されるなど、災害のリスクが年々高まっております。

日頃からの災害に対する備えが重要であります。関係機関と連携を図りながら、引き続き防災・減災対策に万全を期してまいります。

また、来年４月の運用開始を目指し、現在導入を進めております「防災情報配信システム」を活用して、さらなる防災体制の強化に取り組んでまいります。

なお、現在希望調査を実施しておりますが、希望される方には戸別受信機を無料で貸し出しいたします。一部要件はありますが、可能な限り希望される方々に提供できるよう取り進めてまいります。

先月７日、石破総理大臣が辞任を表明し、２２日に告示された自民党総裁選挙は１０月４日の投開票を経て新総裁が選出されます。衆参両院で少数与党となり、自民党の新総裁がそのまま首相になるという確証もなく極めて不透明な政治情勢となっております。地方自治体においても、誰が総理大臣になるのか、どのような政策が実行されるのか見通しが立たず、町政運営にも少なからず影響が出てくるものと懸念しております。

あらゆる繋がりを用いて最大限の情報収集に努め、国の施策に即座に対応できるよう取り組んでまいります。

次に、今年度の大型事業であります「道の駅改築工事関連事業」の進捗状況について申し上げます。

現在建設中の「緑町ふれあいセンター」は、今月末に完成予定となっております。「旧緑町コミュニティセンター」を「道の駅の仮店舗」とするための改修工事は、11月13日の完成を見込んでおります。これにより、随時、引っ越し移転作業を行い、現在の道の駅産業会館を解体する運びとなります。

解体終了後は、「新たな道の駅物産館」の整備を進めていくというスケジュールになっております。

「新道の駅物産館」は来年の11月頃の営業開始を目指しており、その間は、仮店舗での営業となりますので、物産館をご利用される皆様には、何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

新たな道の駅は、厚沢部町の顔となり、核となる施設であり、町の魅力発信基地として町民の皆様に愛される道の駅となるよう取り組んでまいります。

次に、本臨時会に提案いたします案件は、補正予算案1件であります。

議案第1号の令和7年度厚沢部町一般会計補正予算につきましては、1億1千208万円を追加し、予算の総額を58億5千280万2千円とするもので、内容は、

先ほども触れましたとおり、8月19日から大雨により被害を受けた道路や河川等の災害復旧のための事業に係る所要額を補正するものであります。

緊急を要する災害復旧事業の予算につきましては、先般、専決処分をさせていただいたところですが、その後、農業生産者の要望を調査し、取りまとめたものなどを計上しております。

なお、小規模災害復旧事業につきましては、近年の事業費高騰による生産者の負担を考慮して、補助上限等の拡充を図っております。国や北海道などに要請を行いながら財源を確保し、引き続き、厚沢部町の基幹産業である農業を守ってまいります。

詳細につきましては、副町長、関係課長に説明にあたるしますので、ご審議の上、ご賛同賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。